

食品ロス量（家庭系食品ロス量）の目標の算出根拠について

毎年行っている「千葉市ごみ組成測定分析」の分析結果、及び、次期「千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の策定にあたって実施した「家庭系ごみに関する意識調査」のアンケート結果に基づき、食品ロス量（家庭系食品ロス量）の目標の算出を行った。

（単位：トン）

	家庭系可燃ごみ量 【A】	食品ロス割合 【B】	食品ロス量（推定値） 【A×B】
R2 実績	162,289	2.75%	4,463
R14 推計値	150,054	2.75%	<u>4,126</u> …①
R14 目標値			<u>3,301</u> …②

※食品ロス割合については、「千葉市ごみ組成測定分析」（R2 年度）の「手つかず食品（直接廃棄）」「食べ残し」の合算値を採用。R14 においても割合は変わらないものと仮定する。

※推計値については、現行の施策及び分別収集・処理体制を維持した場合のごみ量の値となる。

※目標値については、推計値をベースとし、新規施策等による減量効果を加味して算出した値となる。

「推計値」から「目標値」を達成するための削減率の 20.0%（ $1 - (②/①)$ ）については、「家庭系ごみに関する意識調査」【問 18】のアンケート結果を用いて算出を行った。

（単位：回）

食品ロス発生頻度	割合 【A】	週当たり回数※ 【B】	割合×週当たり回数 【A×B】
毎日	3.9%	7.000	0.273
週 2、3 回	12.3%	2.500	0.308
週 1 回	21.2%	1.000	0.212
月 1、2 回	27.8%	0.375	0.104
殆どない	30.8%	0.000	0
分からない	2.8%	—	—
無回答	1.2%	—	—
合計	100.0%	—	<u>0.897</u> …③

※食品ロス発生頻度の週当たり回数を、食品ロス発生頻度に応じて、7.0 回、2.5 回、1.0 回、0.375 回、0.0 回とする。

食品ロス削減に関する各種施策により、食品ロス削減に関する意識が高まることで、「毎日」「週2、3回」「週1回」「月1、2回」と回答した人のうちの3割が、下の区分に移行すると仮定すると、週当たりの回数の合計は以下のとおりなる。

【削減効果】 (単位：回)

食品ロス発生頻度	割合 【A】	週当たり回数 【B】	割合×週当たり回数 【A×B】
毎日	2.73%	7.000	0.191
週2、3回	9.78%	2.500	0.245
週1回	18.53%	1.000	0.185
月1、2回	25.82%	0.375	0.097
殆どない	39.14%	0.000	0
分からない	2.8%	—	—
無回答	1.2%	—	—
合計	100.0%	—	0.718 ...④

$$1 - \{ 0.718 \text{ (④)} \div 0.897 \text{ (③)} \} = 0.1996 \doteq 20.0\% \text{ (削減率)}$$

$$4,126\text{t} \times (1 - 20.0\%) = 3,301\text{t} \dots \text{②}$$

[参考] 国の食品ロス削減目標から設定する場合

食品ロス量については、家庭系・事業系ともに 2030 (R12) 年度までに 2000 (H12) 年度比で半減とする国の目標値が定められている。

[国の食品ロス量実績と目標値] (単位：万トン)

	2000 (H12) 実績	2018 (H30) 実績	2030 (R12) 目標
家庭系食品ロス量	433	276	216
事業系食品ロス量	547	324	273
合計	980	600	489

家庭系食品ロス量について国の 2030 年度目標を達成するためには、2018 年度比で 21.8% (1 - (216 万 t / 276 万 t)) の削減が必要であることから、千葉市においても同様の削減率を目標とする。

[千葉市の食品ロス量実績と目標値] (単位：t)

	家庭系可燃ごみ量 【A】	食品ロス割合 【B】	食品ロス量 (推定値) 【A×B】
H30 実績	158,463	3.04%	4,817
R2 実績	162,289	2.75%	4,463
R14 推計値	150,054	2.75%	4,126 …①
R12 目標値			3,767
R14 目標値			3,592 …②

○「千葉市ごみ組成測定分析」(H30 年度)においては、「食べ残し」の分類を行っていないことから、「食べ残し」については、割合に変化がないと仮定し、R2 実績値 (1.19%) を当てはめることとする。

○H30 から R12 について毎年同量が削減されると仮定したうえで、R14 目標値を設定する。

$$4,817t \times (1 - 21.8\%) = 3,767t$$

$$3,767t - \{ (4,817t - 3,767t) \div 12 \times 2 \} = 3,592 \dots \textcircled{2}$$

なお、事業系食品ロス量について、国の事業系食品ロス量は、産業廃棄物も含めた算出を行っていることから、国の削減目標に準じた参考値の算出は行わないこととする。